

挑戦してみても成功も失敗も 全てが自分の成長につながる



【4月7日入学式：入学生代表伊藤さんが素晴らしい「誓いの言葉」を述べました】

■御入学、御進級おめでとうございます。～入学式の校長式辞を紹介します～

温かく穏やかな春の日差しの中、154名の新入生の皆さんを本校に迎えることができました。御入学おめでとうございます。新入生のみなさん、4月は気持ちをリセットし、新しいことに取り組もうと決意する、とてもよい時期です。新しい教室で、新しい仲間と、自らを成長させる新しい目標を立て、いろいろなことに挑戦してください。「成功した」「失敗した」という体験をたくさんしてください。成功体験も失敗体験も人間にとって成長するために必要なものです。ぜひ挑戦しましょう。

ところで、袋井市では令和2年度から幼小中一貫教育をスタートさせ、今年で3年目になります。中学校においても「南の丘学園」としての共通目標である「明るいあいさつ 元気な返事 いつでも笑顔」を、全員で実践していきます。あいさつは、今後、どれだけ世界が変化し、情報機器が発達しても、人と人をつなぐ、大事な行動になると私は思っています。中学生となったみなさんが、南の丘学園のリーダーとして、この取組を地域に広め、「南の丘学園の自慢」となるよう、取り組んでいきましょう。また、みなさんは3年後、義務教育を終えて、今より広い世界に踏み出していきます。中学校3年間はそのための準備期間になります。この準備期間に、授業や行事、部活動などを通して、多くのことを学び、自ら考え、その考えをまわりの人たちに示しながら、中学校生活を送ってほしいと思います。そして、多くの経験から「自分らしさ」を見つけてください。

保護者の皆様、本日はお子様の御入学、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。私たちの願いは、子供たちが中学校で様々な経験を積み、心身共にたくましく成長し、社会の一員となることです。保護者の皆様もきっと同じ思いでおられることと存じます。この願いを実現するために、職員一同、全力で取り組んで参ります。家庭と地域と学校が協力し、子供たちを導いていけるよう、御理解と御協力をお願いいたします。結びに、新入生皆さんの今後の活躍と大いなる成長を祈念して式辞といたします。



荒井さんが代表として教科書を受け取りました。